

## クラスの様子【11月号】

●ひよこ組 **【今月の目標】** 体調に気を付けながら、秋探しや、戸外での活動を楽しむ。

10月は、暑さも和らぎ、子どもたちにとっても、戸外活動のしやすい日々となりました。毎日のお散歩では、日に日に色付くみかんや柿を見たり、遠くの道を走る車を眺めたり、途中のお家のワンちゃんとおはよう。」の挨拶を楽しみました。地域の方々にも優しく声を掛けて頂き、「はよ。」と頭をさげたり、手を振る姿もありました。そして、1番の出来事は、Cバスでの椿神社へのお出掛け。初めての事ばかりでしたが、おやつを食べたり、大きな鯉を見て興味津々。何より、みなでバスに乗ったことは、大きな思い出になったようでお部屋に飾った写真を、今でも指をさして笑顔で見えています。

11月には、新しいお友だちが入り、6名となります。十分体調に気をつけ、ゆったりと過ごしていきたいと思います。(伊達)



●りす組 **【今月の目標】** 散歩や戸外での活動を通して、秋の自然に興味関心をもつ。

10月は運動会ごっこがあり、ダンスやかけっこを楽しみました。お兄ちゃん、お姉ちゃんの前で緊張している様子の子も見られましたが、かわいらしいおにぎりの衣装に身を包みりす組ならではの表現を楽しむことができました。また普段の遊びの中で乗り物に興味を持っている子が多く、散歩先でバスが通っていくのを見つけると嬉しそうに手を振ったり、「バス！」と指をさしている姿がありました。そのためバスに乗っておでかけをする計画をたて、2週間にわたって少人数ずつに分かれてバスに乗って椿神社に行きました。初めてのバスにドキドキしている様子の子も見られましたが、バスの中では窓の外をじっと眺め、消防車やクレーン車などたくさんの乗り物を見つけ喜んでいました。椿神社では参拝をしたり、滝や鯉を見たり、おやつを食べたりと普段と違う活動を楽しむことができました。地域の方とお話をしたり交流できるいい機会となりました。これからも子どもたちの興味関心に寄り添った楽しい活動を一緒に楽しみたいと思います。季節の変わり目で鼻水や咳が出ている子が増えてきています。体調を崩しやすい時期なので、一人一人の様子に十分気を付けてみていきたいと思います。(鈴木)



●うさぎ組 **【今月の目標】** ごっこ遊びや劇遊びを楽しむ。戸外に出て木の実を見つけ、自然にたくさん触れる。

比較的過ごしやすい日が多く朝と夕方に園庭に出て遊びました。平均台を横に2本並べるとすたと歩け、途中で1本に本数が減るとそれを見て「怖そう」と見た目を感じて言葉にする子、どのように進んでいいのかわからずしゃがみこんでしまう子、近くにいた保育士に手を差し出して「手をつないで」ということをアピールする子、さまざまでした。それでも保育士の手をもって挑戦したり、やっている子が困っていたら周りの子がそれに気づいて手を差し出したり、いろいろな子どもたちの姿があり「やってみよう！挑戦してみよう」という意欲がすぐく見られました。それを繰り返し、初めて一人でできたときの達成感や喜びを子どもと一緒に喜び、共感しました。どの子もすぐうれしそうに自信に満ち溢れた表情をしていました。また、「にんじんさん、たまねぎさん」という絵本の中でネズミが野菜をかじるという場面があり、運動会ごっこで使ったカレーの具材をネズミさんがかじりに来て散歩先に隠してしまうという設定を作りました。そして子どもたちがいつもお部屋にあったカレーの具材がなくなっていることに気づき、クラスで分かれて探しに行きました。宝探しのようで見つけるたびにわくわくして、数日たって散歩に出かけると「ここにねずみさんが持って行ったニンジンあったよね」とたくさんの子もから話が出てきました。それだけ印象に残ったのだなと感じました。この頃ごっこ遊びのやり取りをはじめ、そこに大人が入って遊びの展開を促すとどんどん遊びが展開されていきます。子どもたち同士のやり取りが面白くて、つつい笑ってしまうこともあります。やり取りができるようになったのだな、と成長を感じました。11月からは新しいお友達が増えます。そして少しずつお遊戯会の練習を楽しんで取り組んでいけたらいいなと思っています。(谷口)



## クラスの様子【11月号】

●さくら・くぬぎ・とちのき組 今月の目標 様々な活動に取り組み、自分を表現することを楽しむ。

<室内の様子>

室内では、園庭や散歩先から持ち帰ったどんぐりや椎の実、落ち葉など、この時季ならではの自然物を使った製作に取り組んでいます。色を塗ったどんぐりに爪楊枝をさしてコマを作りお友達と対戦をしたり、牛乳パックなどの廃材を使ってどんぐりの滑り台を作っている子もいました。自分で拾ってきたものやお友達、先生が拾ってきたもの関係なくみんなが分け合い、そして自分のイメージした作品にしたりお友達と共有して一緒に考えながら作ったり…足りないものは代用できるものを探す子もおり、子どもたちの発想には何度も驚かされました。また、年長児の発案からくぬぎぐみにポストを設置しました。最初はお絵描きをした紙を入れてみたり宛名のない手紙が多くありましたが、子どもたちに話をしたり年長児が手紙を書く姿を見て少しずつ宛名の書かれた手紙が投函されるようになりました。違うクラスのお友達や先生にお手紙を書いたり、直接は恥ずかしくて言えない“ありがとう”を手紙にしている子もおり、微笑ましく思いました。これからも子どもたちの言葉から活動の輪を広げていけるといいなと思います。(倉田)



<戸外の様子>

過ごしやすい気候になったことで戸外で遊ぶことが増えてきました。散歩、園庭、西の広場など様々な場所で活動できるように子ども達に活動場所を選択してもらっています。

秋はドングリ、クリ、しいのみなどいろいろな木の実、ミカン、カキなどの果物、ススキ、紅葉などの草木などたくさんの発見が楽しいと思えるとても素敵な季節です。子ども達は毎日「今日はくりいっぱいひろった!」「ドングリお土産に持って帰る!」など嬉しそうに話してくれます。子ども達が自分から触れて、自分から楽しみ、自分でどうしたいか、の気持ちをたくさん感じられるように会話を大切にしていきたいと思います。運動遊びでは大縄跳び、けんけんぱ、鉄棒など積極的に取り組んでいる子どもたちも増えてきました。上手く出来なくても経験することが大切だと感じられるようにこれからも見守っていきたいと思います。(平澤)



●ライオン組 今月の目標 ひとつの目標に向け取り組むことの楽しさややりがいを感じ、何かを習得、上達することの達成感を味わう。

ライオンぐみは10月16日にモクモクファームへお出掛けしました。お泊り保育の際に残念ながら天候不良のため延期になっていたこともあり、子ども達の期待値はとても高まっており、当日は登園した時から楽しみで仕方のない様子がよく伝わってきました。モクモクまでは観光バスで向かいましたが、初めてのバスでのお出掛けに興奮しながらも、行きも帰りもしっかりと挨拶をしたり、マナーを守って乗車することができていました。モクモクでの体験、経験の感想は子ども達からもよく伝わっているのではないかと思います。子ども達にとってあのお出掛けが思い出に残るものになってくれるといいなと思います。



また、10月に入りライオンぐみでは12月のおゆうぎ会に向け本格的に合奏やダンスなど様々な練習にも取り組んでいます。今年は例年とは異なる形での開催となりますが、年長に進級した時から子ども達は当然おゆうぎ会を楽しみにしてくれていました。子ども達や保護者の皆様のその期待に応えられるよう、子ども達にとっておゆうぎ会が、その練習が、やりがいや達成感を感じられるものになるよう、残り1ヶ月、我々保育士も出来る限りのことをしていきたいと思っていますので、保護者の皆様もぜひそんな子ども達の努力する姿、成長した姿を見ることを楽しみにしていただければと思います。(安田)